

# 働く現場に 潜入!

朝起きて  
やることがある嬉しさ

「暑いねえ、でもこの夏の時期は繁忙期なんだな」「早起きだもんで、朝早いのもへっちゃらだよ」

こんな話を聞かせてくれるながら、とある夏の日アパートの庭木の剪定を行う男性3人組。シルバー人材センター会員の3人は、カンカン照りの暑さの中、元気に活動しています。

丁寧に剪定を行う3人の職歴には、「庭師」の文字はありません。「これまで屋外で体を動かす仕事はしたこと



がない」と話してくれるのは、脚立に乗って背の高い木をはさみで切る足立雅彦さん。シルバー人材センターの会員になってまだ1年程のルーキー。足立さんは60歳で定年後、同会社に65歳まで再雇用として在籍し、会社に貢献しました。

長年職人をやっていたかのように丹精込めて低い樹木を刈る上村松夫さん、そして足立さん・上村さんが刈った枝や葉を素早く集める小野利典さん。もちろん2人もシルバー人材センターで働くようになってこの仕事を学びました。

「定年退職したての頃は、今まででできなかった分めいっぱい遊びました。だけど、程なくして、やることにな

くなってしまふ。毎日何をして過ごすのか考えるのは嫌で。」境遇は違えど、3人も似たような思いを心に持ち、シルバー人材センターに登録しました。

「やることがあるということが本当にいい。生活にリズムができて、健康的だよ。」と小野さんが話すと、うんとうんとうなずく足立さんと上村さん。3人にとって剪定作業は仕事であり、ひとつの生きがいとなっていました。「働いてお金を稼いで、自分たちがやったことで誰かに喜んでもらえて。こんなに嬉しいことはないね。最近のお金の使い道は…良い剪定用品を買うこと!」

急募

## 子育てママサポーター



子育て世帯向け家事支援サポーターを募集します。核家族・共働き・父母からの支援が得られにくい妊婦～3歳児を持つママを応援しませんか。

**申し込み** 直接または電話でシルバー人材センターへ。

## どうやったら会員になれるの?



センターで開催される「おしごと説明会」に参加してください。

**とき** 毎月第2火曜日 午前9時30分～

**ところ** 生きがいセンター

**申し込み** 電話でシルバー人材センターへ。